

## ■ 機 関 紹 介 ■

### 1. 組 織 概 要

オオノ開発(株)環境科学研究センターは、オオノ開発(株)フレップとうおんの分析センターとして発足しました。当社の主要事業である産業廃棄物処分業や解体業と連携し、廃棄物の受け入れ調査・分析や解体予定建物のアスベスト分析、各施設の排水・排ガスなどの環境分析を行っています。2025年には2施設目となる「フレップ知多 環境科学研究センター」を開設、さらにフレップとうおんから独立した一部署として新たなスタートを切りました。より迅速で柔軟な意思決定を通して研究・分析体制の強化やサービス品質のさらなる向上に取り組んでいます。

### 2. 沿 革

- 1966年 大野開発(現：オオノ開発)創業
- 1980年 産業廃棄物処理業開始
- 2009年 環境科学研究センター(通称：オオノ・ラボ)を発足
- 2010年 計量証明事業(濃度)登録
- 2011年 環境省 土壤汚染状況指定調査機関登録
- 2015年 作業環境測定機関登録
- 2025年 愛知県知多市に環境科学研究センター(通称：知多ラボ)を発足
- 2025年 環境科学研究事業部としてスタート

### 3. 業 務 内 容

- ①環境計量証明事業(大気・排ガス測定、水質分析、土壌分析)
- ②環境分析(作業環境測定、アスベスト分析、絶縁油 PCB 分析、廃棄物分析、放射線測定)
- ③土壌汚染状況調査
- ④試験研究(受託試験、研究開発)

### 4. 作 業 環 境 測 定 の 実 施 状 況

現在、第1種作業環境測定士が4名在籍し

ております。作業環境測定は当グループ会社を主要な対象とし、作業環境の改善・維持を担っています。

令和6年度の分野別比率は有機溶剤35%、特定化学物質29%、粉じん23%、金属13%でした。また溶接ヒュームなどの個人ばく露濃度測定も開始し、各事業所における化学物質の自主管理を実務レベルで支える役割に込められています。

### 5. お わ り に

当社は《皆様によるこんでいただく・社会のニーズに応える》という理念のもと、解体業・産業廃棄物処理業・リサイクル業などさまざまな部署が連携し、環境汚染調査から無害化処理、埋立処分まで一貫した環境サービスを提供しています。当センターは最新鋭の分析・測定機器を整備し、環境分析だけでなく、複雑・多様化する環境問題を解決する糸口としてリサイクルに関する研究・調査も行っています。「持続型資源循環社会」の実現に取り組むとともに、これからも地域社会に貢献し続けられる存在でありたいと考えております。

また昨今の自律的な化学物質管理への移行に伴い、作業環境測定士として求められる内容が変化している中、当センターも管理濃度に対する測定と評価の「測る専門家」から「職場の化学物質管理を総合的に導く専門家」への進化を目指しております。確かな採取・分析技術からの高品質なデータと作業環境の管理水準向上に不可欠な幅広い見識の取得を通し、事業者の化学物質リスクアセスメントを技術的に支えるパートナーになれるように日々精進してまいります。



オオノ開発株式会社  
環境科学研究センター(東温)



環境科学研究センター(知多)

<https://www.oono-as.jp/>